



# 長崎市 第五次総合計画

概要版

[ 基本構想・前期基本計画 ]



長崎市

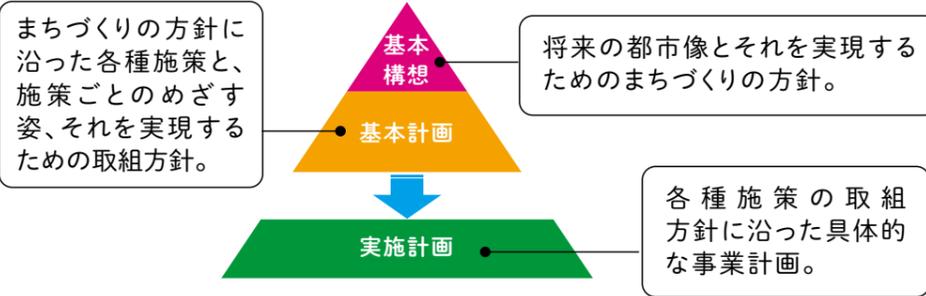
# 市政運営上の最上位計画 市民等と共有し、ともに取り組む計画

長崎市総合計画は、「市政運営上の最上位計画」であり、市役所だけでなく、市民の皆さんにとっての活動指針にもなり得る計画として策定しています。

## 第五次総合計画の構成と期間

### 構成

基本構想、基本計画及び実施計画の三層構造となっています。



### 期間

令和4年度(2022年度)から令和12年度(2030年度)までの9年間\*の計画です。

※令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間の計画と想定していましたが、新型コロナウイルスの影響により開始時期を1年遅らせています。



## 策定にあたって意識した2つのこと

### ①第四次総合計画からのつながり

「第四次総合計画」の計画期間\*における「魅力あふれるまち」、「市民が暮らしやすいまち」の実現に向けた取組みを振り返り、うまくいっていることはさらに進め、うまくいっていないことは改善することを意識して策定しました。

#### 四次総の総括

- ハード・ソフト両面におけるまちの基盤づくりが進んだ
- 人口減少のスピードを遅らせることができなかった

※第四次総合計画の計画期間  
平成23年度(2011年度)～令和3年度(2021年度)



#### 五次総の着実な推進に向けて

- うまく進んでいることをさらに進める  
⇒基盤を完成させ、その基盤を活かして市民の暮らしの質を上げるとともに、訪問客の満足度を向上させる
- うまく進んでいないことを改善する  
⇒人口減少対策を強化し、急激な減少に歯止めをかける

### ②時代の大きな流れを捉える

人口減少や少子化・高齢化の進展、テクノロジーの急速な発展など、時代の大きな流れのなかで、今、特に何をすることが求められているかを考え、そこから導き出された5つのキーワードを意識して策定しました。

#### 時代の大きな流れ

- 人口減少、少子化、高齢化の進展
- 新型コロナウイルスの世界的な流行
- テクノロジーの急速な発展
- Society5.0\*の実現をめざす動き
- 地球規模の気候変動と災害の激甚化
- SDGs達成をめざす動きなど



#### 特に求められる視点

- 社会経済の規模縮小や、世代間のバランス崩壊などから生じる様々な問題を喫緊の課題と捉えて対応。
- 働き方やライフスタイルなどに対応する。まちの個性を活かして選ばれる。
- 進歩するテクノロジーやまちづくりに関わるあらゆる主体とのつながりなどを活かし、新たな手法で安全安心や暮らしやすさを実現する。
- 持続可能な世界の実現に向けて貢献する。自律した都市経営をめざす。

#### 5つのキーワード KEYWORD

- ①QOL(生活の質)
- ②ダイバーシティ(多様性)
- ③テクノロジー(科学技術)
- ④サステナビリティ(持続可能性)
- ⑤レジリエンス(しなやかな強さ)

※Society5.0  
狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国がめざすべき未来社会の姿として初めて提唱された。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。AI(人工知能)やロボットなどの技術で、世界の様々な課題の解決をめざす。



2030年を目標とするSDGsの達成については、第五次総合計画と一体的に推進していきます。

詳しくは最後のページをご覧ください。

# 第五次 総合計画の体系

基本構想  
前期基本計画

基本構想では、長崎市が「めざす都市像」や「まちづくりの基本姿勢」とともに、令和12年度(2030年度)までにめざす姿を掲げ、それを実現するための8つの「まちづくりの方針」を定めています。

前期基本計画では前半の4年間(令和7年度)までに取り組む各種施策を体系づけています。



「世界都市」とは…  
「魅力あふれるまち」

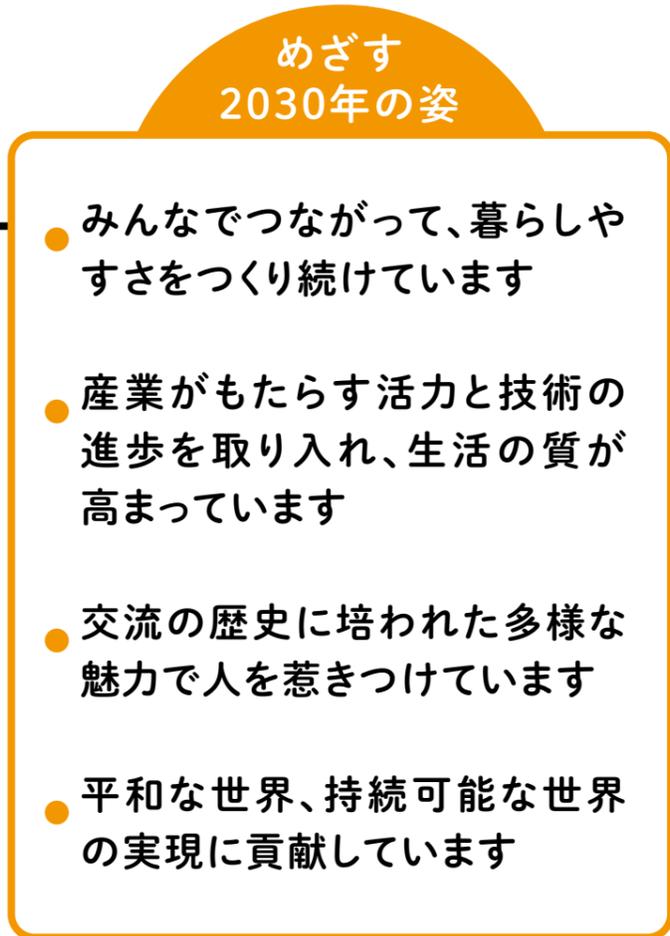
平和、交流、産業などを通して長崎ならではの価値を世界に向けて発信するとともに、長崎にしかできない役割を果たし、世界に貢献することで、「世界のナガサキ」としてキラリと光る存在感のある都市の姿。

「人間都市」とは…  
「市民が暮らしやすいまち」

人間性が尊重され、お互いの個性を認め合い、他者を思いやり支え合いながら、子どもから高齢者までライフステージに応じてだれもが豊かでいきいきと、幸福に暮らせる都市の姿。

つながりと創造で新しい長崎へ

市民等がお互いにつながることで、まち全体がネットワーク化し、文化や産業等の長崎市が持つ様々な価値を高めながら、世界にも通用する新たな価値や仕組みを創造していくという姿勢でまちづくりを進める。



※世界都市・人間都市は、とても遠くにある北極星のような大きな目標なので、第五次総合計画では、9年後の2030年までにめざすまちの姿を少しでもイメージしやすいように、4つのテーマで表現しました。



## まちづくりの方針【8項目】

**A** 私たちは「独自の歴史・文化を活かし、多様な交流と満足を生み出すまち」をめざします

**B** 私たちは「平和を愛し、平和の文化を育むまち」をめざします

**C** 私たちは「人や企業に選ばれ、産業が進化し続けるまち」をめざします

**D** 私たちは「環境と調和した持続可能なまち」をめざします

**E** 私たちは「だれもが安全安心で快適に暮らし続けられるまち」をめざします

**F** 私たちは「みんなで支え合い、だれもが健康にいきいきと暮らせるまち」をめざします

**G** 私たちは「未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします

**H** 私たちは「参画と協働によるまちづくりと確かな行政経営を進めるまち」をめざします

## 前期基本計画の基本施策【39項目】

A1	地域の個性を守り、活かし、伝えます
A2	交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し、観光まちづくりを進めます
A3	国際性を豊かにします
B1	被爆の実相を継承します
B2	核兵器廃絶の実現に向け、着実に歩みを進めます
B3	平和の文化を醸成します
C1	地場事業者の成長を支援します
C2	人や企業を呼び込み、新たな事業を創出して、産業を強めます
C3	次世代につながる農林業を育てます
C4	水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします
C5	地元農水産物の消費を拡大します
D1	脱炭素社会の実現をめざします
D2	資源を守り大切に社会の実現をめざします
D3	豊かな地域環境を守り活かします
D4	環境意識・行動の定着を図ります
E1	地域の連携・協力を促進し、防災体制の充実を図ります
E2	犯罪、交通事故のない地域づくりを進めます
E3	安心できる消費生活環境をつくります
E4	暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します
E5	安全・安心で快適な住環境をつくります
E6	車や公共交通による移動の円滑化を図ります
E7	安全・安心で快適な道路・公園をつくります
E8	水道水を安定して供給し、下水を適性に処理します
F1	人権が尊重され、様々な分野で男女が参画するまちをめざします
F2	高齢者が安心して自分らしい暮らしを続けられる地域づくりを進めます
F3	障害者が安心して自分らしく暮らせるまちづくりを進めます
F4	子どもをみんなで育てる子育てしやすいまちづくりを進めます
F5	原爆被爆者の援護を充実します
F6	生活困窮者等が将来への希望を持てる支援を充実します
F7	自らすすめる健康づくりを推進します
F8	安心できる衛生環境を確保します
F9	安心できる医療環境の充実を図ります
G1	長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます
G2	だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります
G3	スポーツ・レクリエーションの振興を図ります
G4	芸術文化あふれる暮らしを創出します
H1	市民との良好なコミュニケーションを図ります
H2	参画と協働による持続可能なまちづくりを進めます
H3	市民に信頼される市役所にします

次のページから、「めざす2030年の姿」と、それを実現するための8つのまちづくりの方針についてご紹介します。

# めざす2030年の姿

みんなつながって、暮らしやすさをつくり続けています

- ご近所の住民同士や地域の中にあるさまざまな団体、事業者等のつながりが深まり、さらに安心して居心地のよいまちへ！
- 道路や公園の整備が進み、まちがより快適で安全に！
- コンパクトにまとまった各地域がつながって、お店や病院など、暮らしに必要な施設が使いやすい！



交流の歴史に培われた多様な魅力で人を惹きつけています

- 歴史や文化、景観、自然の魅力がさらにアップ！
- 新たな「学び」や「楽しみ」、「ビジネスチャンス」がいっぱい！
- 最先端の学術研究や一流のスポーツ、芸術文化が身近に！
- 市民や訪問客も楽しめる美味しい食や楽しい体験が充実！



産業がもたらす活力と技術の進歩を取り入れ、生活の質が高まっています

- 産業が元気に！就きたい仕事がちゃんとある！
- テクノロジーの普及で、より快適で便利な暮らしに！
- それぞれのライフスタイルに応じ、余暇の過ごし方などの選択肢が充実！
- 地域や企業も一緒になって、安心して子どもを産み育てられる仕組みが充実！



平和な世界、持続可能な世界の実現に貢献しています

- 被爆の実相の継承や核兵器廃絶に向けた活動が進展！
- 市民一人ひとりが身近なところから平和について考え、行動している！
- 多様性が尊重され、思いやりと優しさがあふれている！
- 医学や環境など、いくつかの分野で世界に貢献している！



# A

私たちは「独自の歴史・文化を活かし、  
多様な交流と満足を生み出すまち」を

めざします

## 市民に愛され、市民の誇りとなり、 世界の人々から選ばれ、多様な交流を生み出すまち

長崎独自の歴史文化などの資源を磨き、活かし、その魅力を発信します。

## 訪れる人も、受け入れ側である事業者、市民も、 3者がそれぞれ満足するまち

世界レベルの質の高いサービスの提供を促進するとともに、観光・MICE\*等での訪問客に関わる新たな雇用の創出を実現させ、かつ観光関連産業を生産性の高い産業へと変革させます。

## 国際性が豊かなまち

世界の一流を学び、世界に通用する人材、文化、芸術、技術等を生み出し、様々な分野での交流により世界をつなぐ役割を果たします。

今後、更に海外からの訪問者、外国人住民が増加する中で、市民の国際理解をより深めていきます。



※MICE  
企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

# B

私たちは  
「平和を愛し、平和の文化を育むまち」を  
めざします

## 被爆の実相を継承するまち

「被爆者がいなくなる時代」が現実のものとなる被爆 100 周年を見据え、被爆者に代わって様々な方法で、次世代に被爆の実相や平和への思いを伝えるまちであり続けます。

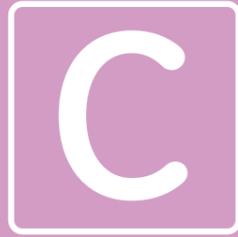
## 核兵器廃絶の実現に向け、着実に歩みを進めるまち

核兵器の悲惨さを体験したまちとして、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に力を尽くすまちであり続けます。

## 平和の文化を醸成するまち

多くの人々が、スポーツや芸術など、それぞれの興味や関心のある活動を通して被爆の実相の継承と平和の発信に関わることができるよう新たな手法を取り入れるとともに、市民の日常の中に平和の文化を根付かせ、その文化を世界中に広げていきます。





私たちは「人や企業に選ばれ、  
産業が進化し続けるまち」を

めざします

### 次世代につながる水産農林業を育むまち

生産基盤の強化やスマート化などにより水産農林業の収益性を向上し、職業としての魅力を高めます。また、長崎が誇る高品質な農水産物の魅力を発信し、供給を推進します。

### 産業が経営力と競争力を高め、 多くの雇用を生み出す活気のあるまち

企業や事業者等の人材の育成や新たな分野へのチャレンジなどを支援するとともに、産学官金が連携しながら新たな産業の創出を後押しし、まちの経済の活力維持と働く場としての魅力向上を図ります。

### 人や企業に選ばれるまち

長崎で働く魅力、長崎で暮らす魅力などの発信と仕事のマッチングなどきめ細やかな対応により、安定的な雇用の確保・拡大や働く世代の移住を促進するとともに、災害が少ないなどの長崎の強みを活かして情報通信関連分野や医工連携関連分野などの企業の誘致を進めます。



私たちは

「環境と調和した持続可能なまち」を  
めざします

### 脱炭素社会の実現をめざすまち

地域で生まれた再生可能エネルギーを地域で活用する「エネルギーの地産地消」を推進するなど、地域の資源を最大限活用します。

### 資源を守り大切にすまち

ごみ減量・リサイクルに対する意識を高め、食品ロスの削減やプラスチック資源の更なる有効活用などに取り組みます。

### 豊かな地域環境を守り、活かすまち

豊かな自然を大切に、自然と触れ合う機会を増やすなど、自然との共生を図るとともに、大気や水環境などを良好に保ちます。

### 環境に対する当事者意識を持って、 環境行動を実践するまち

世界的にも環境への関心が高まってきたこの機会を捉え、多くの市民が当事者意識を持ち、日常生活における環境に配慮した行動（エコライフ）につなげていくための取組みを更に加速させていきます。



# E

私たちは「だれもが安全安心で  
快適に暮らし続けられるまち」を  
めざします

## コンパクト+ネットワークのまち

地域ごとに都市機能が集約され、市中心部と市内の各地区とが公共交通機関や道路、情報などのネットワークで結ばれ、それぞれの地域にあった暮らしやすさがあるまち「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」をめざし、まちづくりを進めます。

## 地域のつながりにより、災害に強く、 犯罪や交通事故が起こりにくいまち

地域の防災や防犯、交通安全に関しては、自分の安全は自分で守るという意識や、地域で助けあう意識を高めるとともに、地域の様々な団体と連携した取組みを進めます。

## 公共インフラや住環境が整ったまち

道路や公園、上下水道などの公共インフラの適切な整備、維持管理に継続性を持って取り組みます。

多様な住まいの選択肢を提供するとともに、空き家対策や建物の耐震化などにより、人と環境にやさしく、安全・安心な住環境をつくる取組みを進めます。



# F

私たちは「みんなで支え合い、だれもが  
健康にいきいきと暮らせるまち」を  
めざします

## すべての人の人権が尊重され、 平等に社会に参画できるまち

人権尊重、男女共同参画についての市民意識の向上及び学習の機会の確保に努めます。

外国人が暮らしやすい環境づくりと、多文化共生のまちづくりを推進します。

## 住み続けたいと思う地域で生涯を通して 健康でいきいきと心穏やかに暮らすことができるまち

医療・介護・福祉におけるそれぞれの提供体制の確保を行いつつ、これらの専門分野の更なる連携強化による長崎版地域包括ケアシステムの推進や、民間団体の積極的な参画を促進することなどにより、全世代にわたって切れ目のない支援ができる地域づくり・体制構築に力を入れます。

## 子どもをみんなで育てる子育てしやすいまち

結婚、妊娠、出産、子育てのすべてのステージにおいて、また、あらゆる場所において、切れ目のない支援の充実を図ることにより、子どもの貧困や子どもへの虐待をなくすとともに、子どもをみんなで育てる子育てしやすいまちづくりを推進します。





私たちは「未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします

未来を創る子どもたちが  
確かな学力と長崎を愛する心を身につけられるまち

子どもたちの学力向上や健やかな心と体の育成に向けた基礎的な取組みと、長崎のまちを支える担い手を育てる長崎市独自の取組みの更なる充実を図ります。

Society5.0 時代を生きる子どもたちに必要な情報活用能力を育成します。

生涯を通じて学び、スポーツや芸術文化、イベントなどを  
気軽に楽しむことができるまち

新たな文化施設やスポーツ施設などのハード面の充実とともに、個々の体験や知識を通じて人と出会う、つながるといった流れを創出し、だれもが生涯を通じていきいきと学び、楽しむことができる仕組みづくりを官民連携して行います。



私たちは「参画と協働によるまちづくりと確かな行政経営を進めるまち」をめざします

市役所と市民との良好な  
コミュニケーションがあるまち

市民の声を聴いてサービスの質を向上させるとともに、市の政策や情報については正確にわかりやすく伝えることに努めます。

市民がまちづくりの主役となるまち

まちづくりの当事者としての市民の力、地域の力により、少子化や高齢化などの社会状況の変化の中でも暮らしやすいまちを維持していくため、長崎市よかまちづくり基本条例に定める「情報の共有」「参画」「協働」の基本原則に基づき、自治会をはじめとする地域の様々な団体や地域コミュニティ連絡協議会、市民活動団体、市が相互に連携し、多様な地域課題の解決につながるよう、まちづくりに参加しやすい仕組みづくりを進めます。

多様化、複雑化する行政需要に対応できる  
市役所があるまち

自律的な財政運営を行うための自主財源の確保に向け、債権管理の適正化による未収金の縮減と、積極的な財産運用を図ります。また、国等の動きを注視しながら、財源確保に努めます。

市役所のデジタル化を強力に進め、市民の利便性向上や業務の効率化を図ります。

時代の変化に対応していくための、人材の確保と育成に努めます。



## 第五次総合計画とSDGsの一体的な推進

### SDGsとは

- 持続可能な開発目標「SDGs」とは、2015年に国連サミットで採択された「2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす」という国際目標で、17のゴール（目標）と169のターゲット（より具体的な目標）が設定されています。
- 経済・社会・環境の3つの側面における広範な課題に統合的に取り組むSDGsは、発展途上国にも先進国にも共通する普遍的な目標で、各国政府には、それぞれの国に特有の優先課題や強みを踏まえた積極的な取り組みが期待されています。

SDGsは地方自治体における様々な取り組みとも密接に関係しており、長崎市においても、各施策に17のゴールを関連付け、その達成に向けた取り組みを一体的に推進していきます。

また、SDGsのゴールは、例えば、雇用を確保〔ゴールNo.8〕することが、貧困の解決〔ゴールNo.1〕につながり、ひいては飢餓の解決〔ゴールNo.2〕につながるといったように、相互に関連しています。SDGs相互の関連も意識し、部局や施策連携の視点をもちながら各施策を進めていきます。

SDGsの17のゴール		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 健康と福祉をすべての人に	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	
		まちづくりの方針																	
A	私たちは「独自の歴史・文化を活かし、多様な交流と満足を生み出すまち」をめざします				●				●		●	●							●
B	私たちは「平和を愛し、平和の文化を育むまち」をめざします																	●	●
C	私たちは「人や企業に選ばれ、産業が進化し続けるまち」をめざします		●			●			●	●			●		●	●			●
D	私たちは「環境と調和した持続可能なまち」をめざします				●		●	●	●	●		●	●	●	●	●			●
E	私たちは「だれもが安全安心で快適に暮らし続けられるまち」をめざします			●		●	●			●		●	●	●				●	●
F	私たちは「みんなで支え合い、だれもが健康にいきいきと暮らせるまち」をめざします	●	●	●	●	●		●			●	●						●	●
G	私たちは「未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします			●	●	●					●	●						●	●
H	私たちは「参画と協働によるまちづくりと確かな行政経営を進めるまち」をめざします					●			●	●		●							●

